

麻生区区民会議ニュース

第5期 Vol.3

平成27年11月●●日発行

発行／麻生区区民会議 編集／企画部会
 事務局／麻生区役所まちづくり推進部企画課
 電話：965-5112 FAX：965-5200 Eメール：73kikaku@city.kawasaki.jp



区民の皆様のご意見を伺い、審議を深めていきます。

区民会議では、二つの部会を設置して、調査審議を進めています。今回、各部会において、それぞれの方法で、課題の解決に向けて多くの方々の意見を伺いました。多様な意見を整理・分析して、審議を深め、暮らしやすい地域社会に向けた具体的な提言に結び付けていきたいと考えています。

●各部会の取組み状況

「若い世代が住みやすいまちづくり部会」

○テーマ「麻生区の魅力のブランド化とPR」

9月13日に開催された第2回あさお子育てフェスタにて、参加された子育て世代の方々に協力をいただき、「麻生区の魅力のブランド化とPR」について、アンケート調査を実施しました。

アンケートを集計すると、次のことが分かりました。
 (アンケート人数268人)

まず、子育て世代が感じる麻生区の魅力については、「治安がよい」(73.9%)、「緑が多い」(73.5%)、「地域の人間関係が良い」(60.4%)の回答を得ました。年齢が若く、居住年数が短い方々に評価が高い傾向がみられます。

次に、子育て世代を呼び込むためにPRしたらよいポイントについては、「緑が多い」(45.5%)、「治安が良い」(42.9%)となりました。「治安が良い」は、年齢が若いほど多くあげています。

全体としては、「治安が良い」「緑が多い」ことが、子育て世代の方々に高く評価されていることが分かりました。一方、「文化施設の充実」「芸術のまち」は、あまり魅力として認識されていないようです。

○テーマ「空き家の利活用」

高齢化で生じた空き家等をシェアハウスとして利活用できないかをテーマに、不動産業者との意見交換、学生(若い世代)のニーズを把握するため区内・近隣にある大学へヒアリング調査を実施しました。

不動産業者との意見交換の中では、空き部屋を貸してもよいという大家さん(高齢者)がいるとの話がありました。大学へのヒアリングをした結果、最近の学生は、1人暮らしを好む傾向があることがわかりました。一部の、シェアハウスに関心のある学生がいる大学では、地元の理解・協力があり、区役所の支援があれば、シェアハウス等の事業を実施できるという意見もありました。

今後、特定した麻生区の魅力の具体的なPR方法の検討や、空き家の利活用について、どのような機関との調整が必要なのかを検討していきます。



子育てフェスタでのアンケート調査

「市民活動・地域活動の活性化部会」

10月31日の「麻生区健康づくりのつどい」にブースを設置して、「ボランティア活動に参加して健康寿命を延ばしましょう！」をキャッチフレーズに「こころの健康づくり」を来場者に呼びかけ、ボランティア活動について、インタビュー調査を行いました。

健康寿命の延長とボランティア活動の関係についてパネルを使って説明し、多くの方の共感を得ることができました。インタビュー調査では、ボランティアの関心の有無、参加したきっかけ、気軽に参加できるようになるために必要なこと、に関する意見を聞き取り、ポストイットに記入してボードに貼り出しました。



今後、寄せられた多様な意見を整理・分析して、審議を深め、提言に結び付けていきます。

●区民会議に寄せられた意見等の要旨について

当区民会議の審議テーマについて、ご意見、ご提案等をお寄せいただき、ありがとうございます。各委員は、寄せられたご意見やご提案等を調査や情報交換するなど共有し、審議の参考にさせていただいています。ご意見等の要旨を紹介します。

- 鶴亀松公園に見られるような子ども達の笑顔があふれる街に。子育て世代の方々の意見やアイデアを取り入れる必要があるのではないか。
- 麻生区の文化水準（ポテンシャル）を有効に活用することが、麻生区の魅力のブランド化につながるのではないか。
- 「どのようなボランティア活動が地域社会で求められているか」というニーズに対応した視点が参加や促進につながるのではないか。

審議テーマについてのご意見・ご提案・ご要望をお寄せいただきますよう、お願い致します。

区民会議事務局 [麻生区役所企画課] 〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1

電話：044-965-5112 FAX：044-965-5200 Eメール：73kikaku@city.kawasaki.jp